

第21回セミナー 子どもの育ちを考える 平成27年8月22日(土)

講師：白梅学園大学 無藤 隆 先生

アンケート回答より一部抜粋

- 今回のお話を聞かせて頂き、自分の保育や教育を振り返り見つめ直すことができました。働き始めて3年目なので、毎日悩みながら子どもたちとかかわっています。**栄養・料理・調理**の3点セットを大切に子どもたちがよりよい幼児期を過ごすことができるよう、取り組んでいきたいと思いました。
- 気づく力を育てるの例として砂場でのケーキづくりがとてもわかりやすかったです。同じ砂場でも、子どもたちは砂の違いに気づき、使い分けている。なるほど!!と思いました。すごく学び、発見ができました。
- ひとつひとつの日々聞き慣れていることば(指導計画、環境など)について明確になることがたくさんあった。**保育課程、指導計画、環境について栄養と料理、調理に置きかえてイメージ**することで、その意味を自分なりに深く理解することができた。5つの力について丁寧にわかりやすいお話を伺い、幼稚園教育の中で育てていきたい力についても、漠然としていたものを言葉で明確に理解することができた。
- 是非、今日の話をして2学期の園内研修で職員に紹介したいと思います。特に、現在の動向もとてもよくわかったこと、教育の質の意味を具体的に教えていただき、**全職員が同じ方向に向かって**、日々の保育にあたることができるようにイメージが膨らんだと思います。子どもたちの育ちの為に、より園内研修を深めていきたいと思いました。もっともっと聞いてみたいと思いました。
- 子ども・子育て支援法が本格的に動き始めている中、**これからの教育**がどのように進んでいくかとても関心がある。特にこれから3~4年は大きな動きがあることに不安もある。もっと無藤先生に聞いてみたかった。**幼小接続に向けて幼児期の育成したい力**を明確にしてもらったように思う。
- 栄養・料理・調理の所がよくわかった。目からうろこでした。保育園は教育をしていないと言われることがある。私は保育園は小学校に上がる子どもを同じように教育(**専門性のある教育**)をしていると自負している。そういう所を無藤先生に少しきいて自分なりに解釈できました。
- 現在、認定こども園での仕事に携わっております。1号子どもと2号子どもと一緒に同じクラスで教育保育していますが、保護者の方から、その形態の意義について尋ねられる機会が多く、この資料に書かれているような返答をしているのですが中々、より簡潔にわかりやすく理解してもらえるように答えていけるような言葉はないものかと、日々考えております。
- 最初に“気力、愛”“面白さを自分の手で作り出す”寄り添い入り込む“など無藤先生の視点ならではのまとめに嬉しくなりました。スタートカリキュラムは、**幼児教育の目標との一致、小学校教育の原点**として学ばせて頂き、とてもすっきりしました。学力の3要素がメインアイデアを核としてつなぐ“深い学び”についてお考えをもっと伺いたかったです。

